

さとうきび増産に向けた取組の実績及び評価

沖縄県本島中部

うるま市、沖縄市、宜野湾市、浦添市、嘉手納町、北谷町、西原町、読谷村、北中城村、中城村

増産プロジェクトにおける令和5年産生産計画の達成状況及び今後の取組状況

生産計画の達成状況等

1 令和5年産の生産実績

	収穫面積 (ha)				単収 (kg/10a)				生産量 (t)			
	夏植	春植	株出	計	夏植	春植	株出	計	夏植	春植	株出	計
H28年産実績	119	59	424	602	7,250	5,380	5,595	5,902	8,652	3,188	23,702	35,542
H29年産実績	99	49	418	566	6,958	4,827	5,034	5,352	6,890	2,381	21,026	30,297
H30年産実績	83	54	382	519	6,322	4,633	4,412	4,742	5,270	2,481	16,859	24,610
R元年産実績	75	40	325	440	6,080	4,094	4,192	4,505	4,568	1,644	13,631	19,842
R2年産実績	89	53	310	451	6,529	4,707	4,974	5,249	5,781	2,475	15,403	23,659
R3年産実績	75	50	323	448	6,627	5,298	4,821	5,178	4,993	2,635	15,570	23,198
R4年度実績	86	50	327	463	7,053	5,152	4,912	5,336	6,076	2,559	16,081	24,716
R5年増産計画	100	65	420	585	6,900	4,500	5,400	5,556	6,900	2,925	22,680	32,505
R5年増産実績	66	47	322	435	5,200	4,070	3,809	4,050	3,455	1,912	12,253	17,620
(対計画比%)	(66.4)	(72.3)	(76.6)	(74.4)	(75.4)	(90.4)	(70.5)	(72.9)	(50.1)	(65.4)	(54.0)	(54.2)
(対前年比%)	(77.3)	(93.9)	(98.4)	(94.0)	(73.7)	(79.0)	(77.5)	(75.9)	(56.9)	(74.7)	(76.2)	(71.3)

2 その他指標の動向 令和4年産→令和5年産

・株出栽培の割合      141.5%      →      74.0%      ・さとうきび作農家戸数      1078戸      →      962戸  
 ・平均糖度      14.1度      →      14.1度

<p>増産目標に対する位置づけ</p>	<p>令和5年産 生産計画及び実績については、以下のとおりであった</p> <table border="1" data-bbox="448 255 1142 367"> <thead> <tr> <th></th> <th>収穫面積</th> <th>単収</th> <th>生産量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(計画)</td> <td>585ha</td> <td>5,556kg/10a</td> <td>32,505t</td> </tr> <tr> <td>(実績)</td> <td>435ha</td> <td>4,050kg/10a</td> <td>17,620t</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和5年度の実績は収穫面積目標585haに対し実績は435ha(計画比74%)、単収目標5.6t/10aに対し実績は4.1t/10a(同73%)、生産量目標32,505tに対し実績は17,620t(同54%)と達成できず、対前年比でも71%と少なかった。</p> <p>今期は前期収穫時から少雨傾向にあり、春植や株出の生育も遅れた。特に、6月1日に本島に接近した台風2号は、うるま市宮城島で最大瞬間風速32.7m/sを記録し、茎の折損はなかったが倒伏と葉片裂傷によってその後の生育が遅れた。さらに、干ばつ傾向で健全葉の回復が遅れる中、8月1日～2日にかけて台風6号の接近で宮城島に最大瞬間風速44～48m/sの強風があり、折損被害は少なかったが倒伏程度も大きく、裂傷被害も多大となり、生育旺盛期の茎伸長も抑えられた。12月の製糖期までに葉は回復し、品質の向上も見られたが、原料茎長は短く生産量は激減し、中部地区全体で前年度実績より大きく低下してセーフティーネットが発動した。</p> <p>うるま市宮城島、伊計島では葉たばこからのさとうきび転作で昨年度の夏植単収も高く、生産意欲は高かったが、夏植え収穫後の株出で単収の低下が大きく、今後の生産継続のためにも次年度株出の単収向上が課題である。</p> <p>うるま市さとうきび生産振興対策協議会により、具志川地区及び石川地区では、令和4/5年産からハーベスタ収穫直後の株揃えと株出管理受委託への利用料金を一部補助しており、令和5/6年産においては収穫後の除草剤散布も追加で補助した。結果、委託農家の理解も得られ利用面積も増えてきている。今後もこの取り組みを中部地区全体に広げ、収穫面積の約7割を占める株出の単収向上を図る。</p>		収穫面積	単収	生産量	(計画)	585ha	5,556kg/10a	32,505t	(実績)	435ha	4,050kg/10a	17,620t
	収穫面積	単収	生産量										
(計画)	585ha	5,556kg/10a	32,505t										
(実績)	435ha	4,050kg/10a	17,620t										
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ さとうきび生産農家の減少で畑の管理が粗放化し、除草剤散布ができず雑草繁茂により単収が低下</li> <li>・ 機械植付およびハーベスタ収穫時に欠株が発生</li> <li>・ ハーベスタ収穫時の刈残し、株の踏み潰しが生産農家の生産意欲と単収低下に影響している</li> </ul>												
<p>令和5年産における取組方針</p>	<p>主なさとうきび生産振興策として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区協議会事業でハーベスタ収穫後の株出管理作業の受委託を支援し、適期管理による単収向上を図る</li> <li>・ 株出管理は補植で欠株をなくし、雑草防除もセットで行い、単収を上げ、農家収益の向上を図る</li> <li>・ 雑草防除のための除草剤散布組織や作業受託者の育成</li> </ul>												

(1) 経営基盤の強化

項目	取組実績及び課題	今後の取組方向																											
<p>①効率的なさとくきび経営の育成と労働力の確保</p>	<p><b>【実施した取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>うるま市宮城、伊計島の葉たばこ廃作に伴う広大な畑地へ全茎式植付機による省力的植付を実施</li> <li>荒廃農地の開墾、排水対策を行って農地を確保し、種苗圃を設置し採苗後は株出栽培で収穫面積を拡大(北中城村)</li> <li>中部地区きび協が仲介して、高齢化で栽培放棄された土地を若い担い手に借り換えさせ、栽培面積を拡大</li> </ul> <p><b>【目標の達成状況】</b></p> <table border="1" data-bbox="427 635 1413 823"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定農業者</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>農業法人</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>さとくきび生産農家の減少で畑の管理が粗放化し、除草剤散布ができず雑草の繁茂で単収が低下</li> <li>株出管理、肥培管理、雑草防除作業を適期に行う受託作業機械オペレーターの育成</li> <li>機械の作業幅に合わない狭い畦幅や、機械のUターンに必要な枕地を設けず圃場端までの植付けが多いため、ハーベスタ収穫時の株の踏み荒らしによる欠株が発生</li> </ul>		H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	認定農業者	5	6	10	15	22	22	22	19	農業法人	10	10	10	14	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産農家に対して機械収穫に向く枕地と畦幅の確保</li> <li>地区協議会事業でハーベスタ収穫後の株出管理作業の受委託を支援し、適期管理による単収向上を図る</li> <li>生産意欲の高い担い手農家および生産法人の育成を支援する</li> </ul>
	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5																					
認定農業者	5	6	10	15	22	22	22	19																					
農業法人	10	10	10	14	-	-	-	-																					

②農業共済制度への加入促進	<b>【実施した取組】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ チラシ配布各さとうきび生産組合総会における加入促進の周知を行った</li> <li>・ さとうきび生産者圃場植付調査(OCR調査)の際に、加入の斡旋を行った</li> </ul>									<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業共済のパフレットやチラシを活用し、加入の斡旋を継続して行う</li> <li>・ 栽培管理改善による単収の向上で収益を増やし、共済加入への意欲を高める</li> </ul>	
	<b>【目標の達成状況】</b>										
		H28 (29年産)	H29 (30年産)	H30 (R元年産)	R元 (R2年産)	R2 (R3年産)	R3 (R4年産)	R4 (R5年産)	R5 (R5年産)		
	加入戸数 (戸)	460	409	311	281	253	261	226	206		
	戸数引受率 (%)	39.4	37.4	30.5	30.3	26.5	28.3	23.6	22.2		
	引受面積 (ha)	246	217	142	141	123	128.1	114.1	110.0		
	面積引受率 (%)	45.1	43.1	33.4	32.4	28.3	29.9	26.3	25.3		
共済金額 (千円)	205,522	186,440	126,737	125,360	11,608	98,257	-	-			
注) R4、R5年産の数値については概算値											
<b>【課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営規模が小さいため加入意欲が低く、共済制度加入への関心が薄い</li> <li>・ 農業共済の重要性の周知</li> </ul>											

(2)生産基盤の強化

項目	取組実績及び課題	今後の取組方向																																				
<p>①気象災害に強い生産基盤の整備</p>	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北中城村のフィールドドリッパーによる暗渠作業を行った種苗圃でサトウキビが健全に生育し、種苗配布後に株出栽培を継続</li> <li>うるま市宮城島で点滴かん水チューブの敷設、撤収を小型乗用トラクターで省力的に行う実証展示</li> <li>かん水施設の無い伊計島で夏植展示ほの発芽を促すため、ゆがふ製糖と中部きび協の水タンクを使いかん水を実施</li> </ul> <p>【目標の達成状況】 (単位:%)</p> <table border="1" data-bbox="427 555 1413 818"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28 実績</th> <th>H29 実績</th> <th>H30 実績</th> <th>R元 実績</th> <th>R2 実績</th> <th>R3 実績</th> <th>R4 見込</th> <th>R5 見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ほ場整備率</td> <td>56.8</td> <td>56.8</td> <td>56.8</td> <td>56.8</td> <td>56.8</td> <td>56.8</td> <td>67.8</td> <td>50.4</td> </tr> <tr> <td>水源整備率</td> <td>50.0</td> <td>50.0</td> <td>50.0</td> <td>50.0</td> <td>50.0</td> <td>52.5</td> <td>61.4</td> <td>38.5</td> </tr> <tr> <td>畑地かんがい整備率</td> <td>39.3</td> <td>39.3</td> <td>39.9</td> <td>39.9</td> <td>39.9</td> <td>39.9</td> <td>46.6</td> <td>33.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>かん水経費や労力負担意識が大きく、製糖工場や土地改良区で貸し出すスプリンクラーやかん水機材利用者が少ない</li> <li>降雨時に湿害によってさとうきびの発芽や生育が不良になる北中城やうるま市の畑での排水改善対策</li> </ul>		H28 実績	H29 実績	H30 実績	R元 実績	R2 実績	R3 実績	R4 見込	R5 見込	ほ場整備率	56.8	56.8	56.8	56.8	56.8	56.8	67.8	50.4	水源整備率	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	52.5	61.4	38.5	畑地かんがい整備率	39.3	39.3	39.9	39.9	39.9	39.9	46.6	33.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>点滴かん水の普及が進まない理由の一つである、かん水終了後の点滴チューブの回収方法を工夫する</li> <li>かんがい施設整備地域では、梅雨明け直後からの早期かん水を推進する</li> <li>北中城村での排水改善効果実証PRと中部地区での牽引式心土破碎機の利用拡大</li> </ul>
	H28 実績	H29 実績	H30 実績	R元 実績	R2 実績	R3 実績	R4 見込	R5 見込																														
ほ場整備率	56.8	56.8	56.8	56.8	56.8	56.8	67.8	50.4																														
水源整備率	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	52.5	61.4	38.5																														
畑地かんがい整備率	39.3	39.3	39.9	39.9	39.9	39.9	46.6	33.1																														

<p>②機械化一貫体系の確立</p>	<p><b>【実施した取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動操舵トラクター、ハーベスタ採苗、ビレットプランター植付実演会をうるま市で開催</li> <li>・ うるま市宮城島の葉たばこ廃作に伴うさとうきび転作に対する令和4年度ハーベスタ事業導入</li> <li>・ 小型乗用トラクター作業の効率化を図るため、宮城島で畦幅150cmの展示圃を設置</li> </ul> <p><b>【目標の達成状況】</b> (単位:台、ha、%)</p> <table border="1" data-bbox="427 408 1413 595"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハーベスタ 稼働台数</td> <td>39</td> <td>46</td> <td>41</td> <td>34</td> <td>42</td> <td>41</td> <td>42</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>ハーベスタ 収穫面積</td> <td>262</td> <td>269</td> <td>272</td> <td>229</td> <td>240</td> <td>254</td> <td>298</td> <td>286</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハーベスタの老朽化で故障が多発し毎年収穫不能になるため、ハーベスタの修繕、稼働調整、他地区からの応援が必要</li> <li>・ 機械植付およびハーベスタ収穫時に欠株が発生</li> <li>・ ハーベスタ収穫時の刈残し、株の踏み潰しが生産農家の生産意欲と単収低下に影響している</li> </ul>		H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	ハーベスタ 稼働台数	39	46	41	34	42	41	42	40	ハーベスタ 収穫面積	262	269	272	229	240	254	298	286	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産農家に対しては、機械化作業に適する畦幅や枕地の設置などを推進するし、オペレーターに対してはより丁寧な作業を求め、相互で信頼関係を築く</li> <li>・ 株出管理は補植で欠株をなくし、雑草防除もセットで行い、単収を上げ、農家収益の向上を図る</li> <li>・ うるま市石川地区において、葉たばこからさとうきびへの転作による急激な栽培面積の拡大に対応した小型ハーベスタの導入</li> </ul>
	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5																					
ハーベスタ 稼働台数	39	46	41	34	42	41	42	40																					
ハーベスタ 収穫面積	262	269	272	229	240	254	298	286																					
<p>③地力の増進</p>	<p><b>【実施した取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 肩掛け式肥料散布機サンスケで散布可能な土壌改良剤の事業活用による利用推進</li> <li>・ 夏植準備圃場に丸葉系緑肥クロタラリアを播種し粉碎を農家所有のロータリーで実施(宮城伊計島)</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑肥栽培と堆肥利用による腐植率の向上</li> <li>・ 緑肥の活用促進を図るための緑肥粉碎用ストローチョッパーの導入</li> <li>・ マニユアスプレッターの導入による堆肥や土壌改良資材の散布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ さとうきびの生育不良等、要望のあった生産農家の土壌分析を行い、単収向上に資する</li> <li>・ 低単収地域へ堆肥利用、緑肥播種を推進する</li> </ul>																											

(3)技術対策

項目	取組実績及び課題	今後の取組方向																																																																																	
①病害虫対策	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>JA、ゆがふ製糖、市町村でガイドー、野そ剤等農薬購入補助</li> <li>うるま市、読谷村の黒腐病による発芽不良を種苗管理センター、地区きび協や製糖工場と被害状況を確認し、対策を示した。</li> <li>生産法人の植付受託作業後の発芽不良に対して、中部地区きび協と普及で黒腐病の発生を確認して農家の理解を得た</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>栽培管理の粗放化に起因する雑草、メイチュウ類、バッタ類の発生防止対策</li> <li>関係機関職員と農家への病害虫発生対策の情報共有</li> <li>農薬の保管等GAP推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JA、工場、市町村で実施する農薬補助の継続と共に病害虫発生情報を関係機関で共有して、共に対策に取り組む</li> <li>病害虫対策はチラシ配布を中心に適用農薬の種類、使用方法、ドリフト対策などの周知、適正使用を呼び掛ける</li> </ul>																																																																																	
②優良品種の選択・普及	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県さとうきび優良種苗安定確保事業について原苗ほ及び採苗ほの要望品種を市町村と協議し、品種の普及拡大を図った</li> <li>令和5年度補正事業による多回株出の更新時に、採苗ほの苗を提供して優良種苗の栽培面積を拡大した</li> </ul> <p>【目標の達成状況】 (単位:%)</p> <table border="1" data-bbox="425 853 1411 1228"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28 (実績)</th> <th>H29 (実績)</th> <th>H30 (実績)</th> <th>R元 (実績)</th> <th>R2 (実績)</th> <th>R3 (実績)</th> <th>R4 (実績)</th> <th>R5 (実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農林8号</td> <td>23.1</td> <td>21.7</td> <td>18.5</td> <td>16.8</td> <td>14.6</td> <td>14.3</td> <td>9.2</td> <td>7.6</td> </tr> <tr> <td>農林15号</td> <td>10.8</td> <td>6.0</td> <td>5.6</td> <td>5.7</td> <td>5.5</td> <td>5.4</td> <td>5.8</td> <td>6.2</td> </tr> <tr> <td>農林17号</td> <td>4.0</td> <td>3.7</td> <td>2.7</td> <td>1.8</td> <td>1.6</td> <td>1.3</td> <td>0.9</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>農林20号</td> <td>2.0</td> <td>1.7</td> <td>1.2</td> <td>0.7</td> <td>0.7</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>農林21号</td> <td>5.8</td> <td>5.7</td> <td>4.8</td> <td>4.5</td> <td>4.9</td> <td>4.7</td> <td>4.1</td> <td>3.2</td> </tr> <tr> <td>農林25号</td> <td>16.9</td> <td>14.7</td> <td>12.5</td> <td>10.5</td> <td>8.6</td> <td>8.5</td> <td>5.8</td> <td>5.1</td> </tr> <tr> <td>農林27号</td> <td>2.7</td> <td>6.7</td> <td>7.5</td> <td>9.1</td> <td>13.7</td> <td>14.5</td> <td>15.8</td> <td>16.3</td> </tr> <tr> <td>農林28号</td> <td>1.7</td> <td>3.7</td> <td>5.8</td> <td>8.0</td> <td>7.3</td> <td>6.9</td> <td>8.1</td> <td>9.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原苗圃の雑草、メイチュウ発生防止管理の徹底による良質苗の生産</li> <li>採苗圃からの各農家への平等な苗配布</li> <li>長期株出に対する優良品種拡大</li> </ul>		H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R元 (実績)	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (実績)	農林8号	23.1	21.7	18.5	16.8	14.6	14.3	9.2	7.6	農林15号	10.8	6.0	5.6	5.7	5.5	5.4	5.8	6.2	農林17号	4.0	3.7	2.7	1.8	1.6	1.3	0.9	0.8	農林20号	2.0	1.7	1.2	0.7	0.7	0.4	0.4	0.3	農林21号	5.8	5.7	4.8	4.5	4.9	4.7	4.1	3.2	農林25号	16.9	14.7	12.5	10.5	8.6	8.5	5.8	5.1	農林27号	2.7	6.7	7.5	9.1	13.7	14.5	15.8	16.3	農林28号	1.7	3.7	5.8	8.0	7.3	6.9	8.1	9.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>原苗ほ設置が困難な市町村の苗ほを中部地区きび協が主導して、一元管理できるよう各市町村と調整、実施</li> <li>各市町村の種苗ほの管理状況を確認し、育苗管理に協力し、生産農家には苗確保のため苗ほの設置を促す</li> </ul>
	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R元 (実績)	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (実績)																																																																											
農林8号	23.1	21.7	18.5	16.8	14.6	14.3	9.2	7.6																																																																											
農林15号	10.8	6.0	5.6	5.7	5.5	5.4	5.8	6.2																																																																											
農林17号	4.0	3.7	2.7	1.8	1.6	1.3	0.9	0.8																																																																											
農林20号	2.0	1.7	1.2	0.7	0.7	0.4	0.4	0.3																																																																											
農林21号	5.8	5.7	4.8	4.5	4.9	4.7	4.1	3.2																																																																											
農林25号	16.9	14.7	12.5	10.5	8.6	8.5	5.8	5.1																																																																											
農林27号	2.7	6.7	7.5	9.1	13.7	14.5	15.8	16.3																																																																											
農林28号	1.7	3.7	5.8	8.0	7.3	6.9	8.1	9.4																																																																											

<p>③栽培技術の普及等</p>	<p>【実施した取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ さとうきび株出管理作業について、実証展示圃の設置、牽引式株出管理機利用実演会を実施</li> <li>・ ビレットプランター等の機械植付や株出管理等の実演会を行い、機械利用による植付作業を推進</li> <li>・ うるま市さとうきび生産振興対策協議会の委託費活用による株出管理作業受委託を支援し、適期作業を実施</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中部地区の畑かんがい未整備圃場での保水性ポリマー資材の実証展示圃による単収向上効果の確認</li> <li>・ 梅雨明け直後からのかん水及び干ばつ時のかん水による単収の向上</li> <li>・ 株出、新植春植及び夏植後の除草剤利用による雑草防除</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各地区さとうきび生産振興協議会による株出管理作業受委託支援を拡大し、適期管理作業を中部全体で実施</li> <li>・ 雑草防除のための除草剤散布組織や作業受託者の育成</li> <li>・ さとうきび株出管理作業について、実証展示圃の設置、現場指導や講習会を実施する</li> </ul>
------------------	--	--